

申請先: 財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「BPM製品 PF準拠確認チェックリスト

APPLIC 登録番号: **K000406-0002** ★APPLICで記載

(1) 対象標準とバージョン
 ・プラットフォーム通信標準仕様V2.0 ・アーキテクチャ標準仕様V2.0

(2) PF準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦月日): **2009年6月10日**

(b) 申請区分(新規、修正、破棄): **新規**

(c) 申請者
 団体名: **日本オラクル株式会社** ★識別キー項目1
 団体のURL: **http://www.oracle.com/lang/jp** (識別キー項目3つで
 APPLIC会員番号: ユニークになるように
 申請者が指定する)

(d) 製品情報
 製品説明のURL: **http://www.oracle.com/lang/jp/products/middleware/index.html** ★識別キー項目2
 代表製品名: **Oracle BPM Suite**
 複数製品で構成する場合追記: **Oracle WebLogic Suite**
 複数製品で構成する場合追記:
 複数製品で構成する場合追記:
 製品識別情報(バージョン等): **10g(10g Release 3(10.3)など)** ★識別キー項目3
 リリース日(予定)(西暦月日):
 対応OS: **Linux(Oracle Enterprise Linux,Red Hat Enterprise Linuxなど)/
 Windows(2003,2008,XP,Vistaなど)/Solaris/HP-UX/AIX/SUSEなど**
 製品の形態((1)型から(3)型): **(2)型**

(1)型 (2)型 (3)型

前提となるPF通信製品
 前提PF通信製品名: **Oracle Service Bus(Oracle SOA Suite)** ※1
 前提PF通信製品名: ※1

※1 **全て同一提供者**、**全て同一提供者**、**Y社製品を**
 ※1 (2)型、(3)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。

(3) PF準拠確認チェックリスト ※: 下記の欄に、前提となるPF通信機能を実装する製品名を記載すること(必ず記載すること) ↓

番号	準拠ルール	必須・ 選択	サイト内・外共通 形式確認	APPLIC 確認欄
1	「PF通信(PF通信機能)」製品 PF準拠確認チェックリストにおける準拠ルールを満たす	必須	◎	
1-1	HTTP通信(IPv4, HTTP1.1)を行えること (CS-R020001, CS-R020002)	必須	◎	
1-2	SOAP通信(SOAP1.1, document/literal, WS-I「シグナ」ロファイル1.0)を行えること (CS-R020003,CS-R020004.)	必須	◎	
1-3	標準仕様書で定義するXMLインスタンスの形式に対応できること (CS-R032001)	必須	◎	
1-4	標準仕様書で定義するサービスインタフェース定義に対応できること (CS-R032003)	必須	◎	
1-5	標準仕様書で定義するメッセージ交換パターンに対応できること (CS-R060001~CS-R060005, CS-R060006,CS-R060007, CS-R060009)	必須	◎	
2	プラットフォーム通信標準仕様第4章「プラットフォーム通信標準のビジネスプロセス制御定義仕様」における機能要件を満たす。	必須	◎	

2-1	BPM機能は、WS-BPELに準拠した以下の機能要件を満たすこと。 ・WS-BPEL V2.0に準拠していること (CS-R040001) ・サービス呼出し/F に関するreceive、reply、invoke (CS-R040003) ・実行制御に関するsequence、flow、if、while (CS-R040004) (ただし、V1.0の場合は、linkがあるflowは対応できなくてもよい) ・throw (CS-R040005) ・変数処理に関するassign (CS-R040006) ・fault Handler (CS-R040007) ・コリレーションセット (CS-R040008) ・XML の部分データを変数に割り当てるためのXPath 1.0 (CS-R040010)	必須	◎	
備考欄(前提事項や制限事項)				
.				